ペタンク

運動強度　★★☆☆☆　屋内・屋外

ペタンクは道具を使って行うスポーツの中でも比較的簡単で、しかもゲーム性を失うことなく、どこでも、誰でもできるスポーツです。ルールは簡単ですが、ゲームの読みには経験を必要とします。実力的に開きがあっても、作戦ミスやゲームの流れで思わぬ不覚を取ることもあります。また地面のコンディションやゲームの展開などにより、投球方法を変える必要があり技術的な奥行きもあります。

用具

- ボール　　ペタンク用のボール。屋外で使用するボールは金属製（鋼鉄やステンレス）で屋内で使用するボールはゴム製でどちらも重みがある。
- ビュット　標的球のこと
- メジャー
- コート　　幅４m×長さ１５m以上あればよい。投球サークルは、直径３５cm～５０cm

簡単なルール

- ３人対３人（トリプルス）で行い、各プレイヤーの持ちボールは２個とする。
- 競技はどちらかのチームが、１３点を先取するかで勝敗を競います

１　全員コートに集合し、ジャンケン等でビュットを投げる権利を決める。
２　先攻チームに１人がスタート地点を定めて投球サークルを画き、ビュットを６m～１０mの範囲に止めるよう投げる
３　先攻チームの第一投者が、ビュットの近くに寄るようボールを投げる。
４　相手チームは先攻チームより一層近く寄るように何回でも投球する。
５　次に、ビュットよりボールが遠くなったチームが投球する。これを繰り返

えし、全投球した時点で最もビュットに近いボールのチームが勝ちとなる。

6　一方のチームが６球投げ終わっても、勝ったチームに残球があれば、更に得点を稼ぐために全球投げる。これで第１セット終了。

7　投球により、ボールを動かしたり、ビュットを動かすことにより得点することもできる。

8　このセットで勝ったチームが、次の第２セットで投球サークルを描き、ビュットを転がし、ゲームを進めていく。セットは、何回も繰り返して１３点先取したチームが勝ちとなる。（投球サークルはセットごとに画く）

9　ポイントの測定は、最後にボールを投げたプレイヤー、または同チームの他のプレイヤーが行う。

・得点の数え方

得点は、両チームのビュットから最も近いボール（ベストボール）の確認から始める。相手チームのベストボールより味方チームのボールがいくつ近いか、その数が得点になる。得点はいつも片方にしかなく、一方はゼロになる。